

## 第6回新町建設計画小委員会資料

資料	分野別意見交換	1 ページ
資料	分野別意見・提言集約 (新町建設計画における主要施策について)	5 ページ
資料	新町将来構想修正案と当初案の比較表	7 ページ
資料	新町将来構想案(全体)	別 冊
資料	新町将来構想案(概要版)	別 冊

## 分野別意見交換分担表

### 総務・文教部門

(行財政・情報・交流・交通・防災・消防・救急・教育・文化・スポーツ)

- 【進 行】 齊藤委員長
- 【委 員】 幕別町 佐々木委員 瀨瀬委員  
更別村 江本委員 鈴木委員  
忠類村 邊見委員
- 【企画部会】 山崎部会長
- 【事務局】 原田班長

### 民生部門

(保健・医療・福祉・住民・コミュニティ・環境衛生・集落・公園・土地利用)

- 【進 行】 本多副委員長
- 【委 員】 幕別町 西尾委員 宮本委員  
更別村 徳尾委員  
忠類村 南山委員 菅野委員
- 【企画部会】 羽磨副部会長
- 【事務局】 上野次長

### 産業・建設部門

(農林水産業・商工労働・観光・土木・建築・上下水道・除排雪)

- 【進 行】 杉山副委員長
- 【委 員】 幕別町 瀬上委員  
更別村 赤津委員 西田委員  
忠類村 小原委員 加藤委員
- 【企画部会】 水谷副部会長
- 【事務局】 金子局長 甲谷班員







資料 分野別意見・提言集約（新町建設計画における主要施策について）

区 分	意 見 ・ 提 言 内 容
<p>総務・文教 部 門</p>	<p>（教育・文化）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経済や産業も大切であるが、文化を高めることも必要である。文化に関心を持つための体制づくりと施設整備が必要である。</li> <li>・ 学校統合の懸念があるが、現時点では、教育のレベルを下げない努力が必要である。</li> <li>・ 更別農業高校を新町でも残す努力が必要である。</li> <li>・ スポーツの振興が進んでいるが、文化面で立ち遅れている感じがするので、生涯教育推進の施策が必要である。</li> <li>・ 地域に残された文化の振興や高齢者教育の地域での実施などを地域に残すことが必要である。</li> <li>・ 新町全体で実施する学習の機会を作る一方、地域での学習の機会を作ることも必要である。</li> <li>・ 新町を考えた時に、全て地域に残すだけではなく、段階を踏んで、将来一つになるよう努力が必要である。</li> <li>・ 既存にある教育施設等の有効活用の方策検討が必要である。</li> <li>・ 地域の歴史、文化、伝統は、当面地域に残し、将来融和を図ることも必要である。</li> <li>・ 男女共同参画社会の施策を新町として提唱してはどうか。</li> <li>・ 自分の町の認識を高めるためにも、地域間バスの運行が必要である。</li> <li>・ 地域を大切にしながら、新町全体の姿を考える必要がある。</li> <li>・ 次代を担う子供たちのことを考える必要がある。</li> <li>・ 同じ町民としての学校間の交流が必要である。</li> </ul>
<p>民 生 部 門</p>	<p>（保健・医療・福祉）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 老人向けの施設の整備充実を考えていくことが必要。</li> <li>・ 住民の関心事は、現状のサービスが維持されるかどうかということ。現状のサービス水準を維持していくことが重要。</li> </ul> <p>（コミュニティ）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3町村の住民の一体感の醸成については、郷土芸能等の交流は可能だが、大きなイベントの開催は、現実的に難しい。</li> </ul> <p>（公園等）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定の施設のみ、住民負担を求めることでよい。</li> <li>・ 新町としての一体性を考えていくことも必要。</li> </ul>

<p>産業・建設 部 門</p>	<p>( 商工業 )</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規の商業施設は必要ないのではないか。</li> <li>・既存商店街の振興を図る必要がある。</li> </ul> <p>( 土木 )</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幕別と忠類・更別の幹線道路の整備を行ってほしい。</li> <li>・道路整備等をする際に、交付税措置などの財政的に優遇される起債を利用してほしい。また、そのことについて、職員はきちんと理解すべきである。</li> </ul> <p>( 建築 )</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・更別に葬儀場がないため、整備してほしい。( 現在は憩いの家で行っている )</li> <li>・住宅を建てるにしても、地域に魅力がないとなかなか人が住まない状況にある。</li> </ul> <p>( 除排雪 )</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・除雪センターの設置はしないで、現状のとおり民間に委託し、それぞれのエリアを受け持って除雪をした方がよいのでは。</li> <li>・市街地の除雪は、民間やボランティア等で行う仕組み体制をつくってみてはどうか。</li> </ul>
----------------------	--

頁	訂正箇所	修正案	当初案
1	第3節 新町将来構想策定の視点 3 住民の意向の反映 1行目	削除	新町建設計画小委員会による調査・審議、
2	第1節 3町村の沿革 6行目	翌年池田町より新川地区を編入、同23年に勢雄、弘和の一部を更別村に分轄し、	翌年池田より新川地区を編入、勢雄、弘和の一部を更別村に分村し、
10	第4節 産業構造の現状 1 農業 2行目	<p>専業農家数は、昭和55年の1,145戸から平成12年の717戸へと約37%減少しています。</p> <p>また、3町村の農業生産は、野菜、いも類、麦類、てん菜などが主で、畜産では、乳用牛と肉用牛が中心となっており、農業産出額は、昭和55年の約225億円から平成14年には約342億円と増加しています。</p>	<p>専業農家数は、昭和55年の1,145戸から平成12年の717戸へと約37%減少していますが、農業粗生産額は、昭和55年の約225億円から増加しており、平成12年には約304億円となっています。</p> <p>また、3町村の農業生産は、野菜、いも類、麦類、てん菜などが中心になっており、畜産では、乳用牛と肉用牛が中心となっています。</p>
10	1 農業 表	平成14年農業産出額を表示	平成12年農業粗生産額を表示
11	2 商業 5行目	平成11年をピークに	平成9年をピークに
12	3 工業 3行目	更別村の事業所数は3か所、忠類村の事業所数は1か所となっています。	更別村と忠類村は、事業所数が合計で4か所という状況です。
20	(2) 住宅の状況 6行目	一方、公営住宅募集による競争率では、幕別町の5.4倍を筆頭に3町村とも住宅の需要は高くなっています。	一方、公営住宅募集による競争率では、幕別町の5.4倍を筆頭に3町村とも住宅の需要は高く、新たな住宅施策が求められています。

頁	訂正箇所	修正案	当初案
27	公共施設等位置図	国道と道道を表示	国道と主要道道を表示
32	第8節 主要な課題 1 快適に暮らせる住環境の整備・充実 11行目	そのため、ごみの減量化やリサイクル運動などをさらに推進し、循環型社会への展開を図る必要があります。	そのため、さらなるごみの減量化やリサイクル運動にも取り組む必要があります。
40	5 各地域の愛着心や独自の歴史解決策 1行目	削除	行政区域が広がることと、愛着心や独自性、コミュニティ機能が低下することとはまったく別のことで、
50	第2節 新町の基本目標 基本目標1	ともに考えともに創る活力あるまちづくり	ともに考えともに創る活力あるまち
	基本目標2	農業を核に競争力のある産業のまちづくり	農業を核に競争力のある産業のまち
	基本目標3	笑顔ゆきかう健康とやすらぎのあるまちづくり	笑顔ゆきかう健康とやすらぎのまち
	基本目標4	文化の香る心豊かな学びのまちづくり	文化の香る心豊かな学びのまち
	基本目標5	自然とともに生きる環境にやさしいまちづくり	自然とともに生きる環境のまち
53	第3節 地域別整備方針 1 幕別地域の整備方針 3行目	今後は、中心市街地や幹線道路沿線に高齢化社会への対応を見据えたまちづくりを進め、	今後は、交通の拠点であるJR駅周辺の中心市街地や幹線道路沿線に高齢化社会への対応を見据えた商業地づくりを進め、